

MRI

-Magnetic Resonance Imaging-

【当院 MRI 装置の紹介】

当院は 5 台の MRI 装置で検査を行っています。見た目はほぼ同じですが、得意分野がそれぞれ異なります。検査目的や患者さんの状態等を考慮して、診療放射線技師が装置の選択を行い、最適な検査ができるように務めています。また、救命救急センターにも MRI 装置が配置されており、深夜でも迅速に検査が可能です。

MAGNETOM Skyra

3 テスラ*の静磁場を持つ装置で、小さい病変を観察するのに適しています。
また、MRI における特殊な検査もこの装置で行うことが多いです。

MAGNETOM Aera

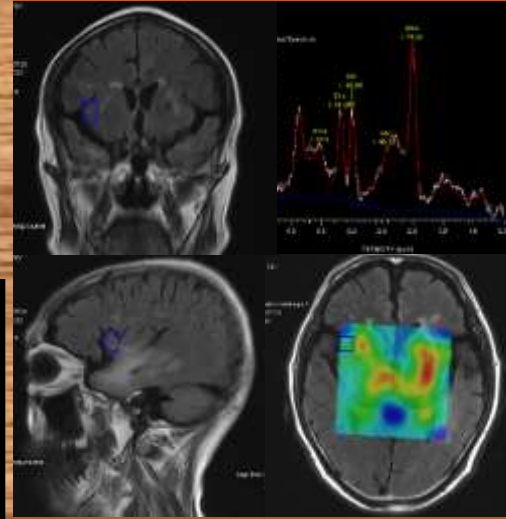
1.5 テスラの静磁場を持つ装置で、他の装置に比べてトンネル内が広いので、狭い場所が苦手な方には、可能な限り、この装置で検査を行っています。

MAGNETOM Avantofit

1.5 テスラの静磁場を持つ装置で、他の装置に比べてトンネルが長いため、背骨全体や下肢などの広範囲の検査に適しています。

*テスラとは、磁力の単位を表す言葉です。3 テスラは現在、診断で使用できる MRI 機器の中で最も強力な磁力を有しています。

ご不明・ご心配なことは診療放射線技師にお尋ねください。
中央放射線部ホームページも是非ご覧ください →→→→→
<https://aichi-med-u-radio.com>

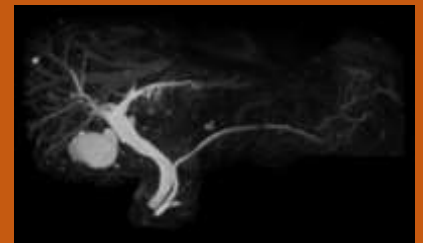


【MRI で撮像できる画像】



MR Angiography

脳内の血液の流れを画像化したもので造影剤等の薬剤を使用せずに血管を観察することができます。細くなっていたり(狭窄)、詰まったりしている(閉塞・梗塞)血管の診断に適した画像を得ることができます。



MRCP 画像

胆のう、胆管、膵管の水成分を画像化したものです。胆石等の水成分を含まないものがある場合、その部分が黒く抜けた画像になるため、石の有無や詰まっている部分の観察に適した画像を得ることができます。

MRI 検査を受ける方へ

ペースメーカーを体内に埋め込まれている方は必ずスタッフに申し出て下さい。MRI 対応のペースメーカーであっても検査前に設定の変更が必要になります。ペースメーカー以外にも埋め込み型心電図や人工内耳、神経刺激装置など、体内に機器が埋め込まれている方は、検査前に必ずお知らせください。